

放課後等デイサービス自己評価表・保護者向け評価表実施報告書

令和2年1月28日

社会福祉法人つみき つみき第7

放課後等デイサービスガイドラインに基づき、下記のとおり自己評価・保護者からの評価を実施しましたのでご報告いたします。

記

1、実施概要

自己評価表：管理者1名・常勤職員2名・非常勤職員1名（合計4名）
を対象に実施。

実施日：令和2年1月6日

保護者向け評価表：利用者保護者20名を対象に実施（有効回答17件）

実施期間：令和2年1月8日～令和2年1月22日

2、評価方法

- 職員から回収した評価表を集計の上、職員間で討議し、項目ごとに課題や工夫している点について認識をすり合わせる。
- 討議の際は保護者向けの結果を十分に踏まえ、職員の認識と保護者の認識のずれを客観的に分析。
- 職員間で認識が共有された課題について、改善目標を立案。

3、公表方法

- 「改善目標」「工夫している点」の主なものについて、ホームページにてできるだけ詳細に公表（年内予定）。
- 保護者向けの結果については、書面にて保護者・職員に公表。

以下、公表内容

4、工夫している点

【設問 1】子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか

…現在、長テーブル×5台、幼児用テーブル×1台を設置、学習スペースで11人が同時に着席して取り組む事が可能な環境を整えている。身長に対して椅子が高い為に足が届かない利用者への対応としては、座高が可変出来るタイプの椅子を2脚設置。又、足置きの台を使う等して、学習姿勢の向上にも考慮した工夫を行っている。他の利用者が学習中の際に、プラレール等の音が生じる玩具を使ったり、カードゲーム等で賑やかに遊びたい利用者がある場合は、扉で遮音も出来る別スペースを開放したり、学習エリアの傍に設置してあるソファに座っての読書やタブレット（アプリゲームや動画視聴の場合はボリューム調節やヘッドホン使用）を利用出来る空間を設け、学習・遊び両面で快適に過ごせるような環境整備、配慮をしている。

【設問 5】活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか

…学習の内容・進路に関しては、基準となる数値（理想とされる1枚に要する時間と成績）を元に、施設指導員や月1回の頻度で巡回に来る公文の職員の意見等も踏まえて、随時、調整を行っている。また、復習が続いて、同じ内容に取り組む事がストレスやモチベーションの低下につながらないように留意しながら、必要な際は見通しを伝えた上で、内容を進めるか、もしくは、本人にとって簡単な所に戻すか、といった判断を一方的に決定せず、利用者の状態や意向も考慮にいれながら、柔軟な対応を心掛けている。その他には、「点つなぎが好き」「漢字をやりたい」「受験に出てくる内容を学習したい」等の個別のニーズに対応した自習プリントやテキストを準備して、公文の学習プリント以外の取り組みもフォローしている。45分間の学習プログラム以外では、近隣の施設（図書館、児童館）や店舗を活用した外出活動（買い物、ゲーム、おやつ）や公園遊び、室内でのおやつ作りや、書き初めを含めた季節の工作活動等のプログラムを集団（もしくは小グループ）で行う設定活動等も取り入れながら変化をつけている。

【設問 6】放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか

…小学校低学年の利用者を中心に、近隣の児童館を利用する機会を設けている。また、児童館が主催するお祭りに小～中学生の利用者が参加した際は、各ブースの係として従事していた（障害のない）子どもたちと交流する機会となった。

5、改善すべき点（改善目標）

【設問 16】非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか
改善目標…令和 1 年 9 月に、今期 1 回目の自衛消防訓練を実施する通知書を王子消防署に提出→9/17 実施（職員・利用者を合わせた計 11 名が参加）。利用者の学習中に震度 6 強以上の地震が発生、2 階から 1 階へ降りる階段に障害物が散乱し使用不可の状況を想定し、非常口の別階段から 1 階へ、窓から外への避難経路を使用し、指定場所への避難誘導を行った。今期 2 回目の実施は 2～3 月中を予定（年 2 回必須）。前年度は職員のみを対象とした E ラーニング形式の受講訓練だった為、利用者を交えた実施という改善目標は達成出来た反面、訓練のペースを 3 ヶ月に 1 回程度に増やすという目標は実現出来なかった為、次年度の改善目標とする。

以上